

施策 2 2 4

学校における防災教育・防災対策の推進

主担当部局：教育委員会

県民の皆さんとめざす姿

子どもたちが、災害対応能力を身につけるとともに、大規模地震等や津波、風水害などの自然災害への対策が十分に行われた、安全で安心して学習できる環境が形成されています。

平成 27 年度末での到達目標

東日本大震災で明らかとなった学校防災の課題をふまえた防災教育・防災対策が行われ、子どもたちが安全で安心して学習できる環境の中で学校生活をおくっています。

現状と課題

- 東海・東南海・南海地震等や津波、風水害などの自然災害から、子どもたちの命を守るため、防災教育・防災対策を一層充実させることが求められています。
- 学校は、子どもたちが一日の大半を過ごす活動の場であり、また、災害時には地域住民の応急避難場所としての役割を果たすことから、大規模地震の発生に備え、安全で安心な施設づくりが求められています。

変革の視点

東日本大震災では、想定を超える津波の発生等により、これまでの学校の防災教育・防災対策の根本的な見直しが必要となりました。そのため、津波からの避難や地域との連携など防災教育を充実するとともに、学校が地域や関係機関等と連携して、的確な対策を迅速に推進します。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
地域と連携した避難訓練等を実施している学校の割合	50% (推計値)	100%	自主防災組織や地域住民等と連携した避難訓練等を実施している学校の割合

平成 24 年度の実施方針

- ① 大規模地震等や津波、風水害に備え、子どもたちの命を守るため、防災マップづくりなどの体験型防災学習等により防災教育を推進するとともに、学校防災のリーダーとなる教職員を養成します。また、防災機器の整備など学校の防災機能を強化します。
- ② 大規模地震に備え、子どもたちの安全の確保に向けて、学校の建物の耐震化に加え、非構造部材の点検、耐震対策を行います。

主な事業

- ① (新) 学校防災推進事業 (教育委員会)
【基本事業名：22401 防災教育の推進】
予算額：(23) ー 千円 → (24) 28,912千円
事業概要：体験型防災学習の支援、防災教材の開発、専門家による学校の安全点検、学校防災のリーダーとなる教職員の養成により、学校における防災教育・防災対策の充実を図ります。

- ② (新) 学校防災機能強化事業 (教育委員会)
【基本事業名：22401 防災教育の推進】
予算額：(23) ー 千円 → (24) 547,655千円
事業概要：大規模災害の発生に備え、児童生徒の安全を確保するため、防災機器や備蓄物資の整備など、学校の防災機能の強化を図ります。

- ③ 校舎その他建築事業 (教育委員会)
【基本事業名：22402 防災対策の推進】
予算額：(23) 2,768,576千円→(24) 3,034,439千円
事業概要：県立高校の施設について、大規模地震に備えた耐震対策、老朽化対策をはじめ教育環境向上のための整備等を進めます。

- ④ (一部新) 学校施設法定点検事業 (教育委員会)
【基本事業名：22402 防災対策の推進】
予算額：(23) 34,203千円 → (24) 68,835千円
事業概要：県立学校について、建築基準法上の建物・設備等の法定点検を実施します。また、併せて非構造部材の耐震化を進めるた

め、必要な点検を実施します。